

1/5/2 (Item 1 from file: 347)

DIALOG(R) File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

04489089 **Image available**
PCM DETECTOR CIRCUIT

PUB. NO.: 06-132989 [*JP 6132989* A]
PUBLISHED: May 13, 1994 (19940513)
INVENTOR(s): AOYAMA HIDEJI
APPLICANT(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD [000582] (A Japanese Company
or Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 04-281463 [JP 92281463]
FILED: October 20, 1992 (19921020)
INTL CLASS: [5] H04L-025/06; H03K-005/08; H03M-001/08
JAPIO CLASS: 44.3 (COMMUNICATION -- Telegraphy); 42.4 (ELECTRONICS --
Basic Circuits)
JOURNAL: Section: E, Section No. 1591, Vol. 18, No. 428, Pg. 33,
August 10, 1994 (19940810)

ABSTRACT

PURPOSE: To provide a PCM detector circuit in which the exact decoding of a high speed PCM signal can be realized by attaining the impedance matching of a circuit, and operating a direct current reproduction.

CONSTITUTION: This circuit is equipped with a D-type flip flop 12 being a decoding circuit which decodes a PCM signal based on a clock signal, main signal line which supplies the PCM signal through a coupled capacitor 11 to the data input part D of the D-type flip flop 12, and mark rate detecting means 20 of a high input impedance connected with the coupled capacitor 11 in parallel, which prepares direct current components according to the fluctuation of the mark rate of the PCM signal, and superimposes the direct current components on the PCM signal supplied to the data inputting part D.

BEST AVAILABLE COPY

(Examined Publication Gazette)

JP 61-32989 B

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公告

⑫ 特許公報 (B 2)

昭 61-32989

* Publication examined

⑬ Int. Cl. *

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告 昭和61年(1986)7月30日

B 41 J 3/04
B 01 D 19/00

1 0 2

8302-2C
D-8314-4D

発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 インクジェット記録装置の気泡除去装置

* publication non-examined
JP 54-13953 A

Application no. → ⑯ 特 願 昭53-48986

⑰ 公 開 昭54-13953 A

⑱ 出 願 昭53(1978)4月20日

⑲ 昭54(1979)10月30日

⑳ 発 明 者 林 大 川 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
 ㉑ 発 明 者 掛 布 定 雄 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
 ㉒ 発 明 者 駒 井 博 道 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
 ㉓ 発 明 者 山 崎 博 史 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
 ㉔ 出 願 人 株 式 会 社 リ コ ー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
 ㉕ 代 理 人 弁 理 士 磯 村 雅 俊
 審 査 官 小 牧 修

㉖ 参考文献 特開 昭48-12628 (JP, A)

特開 昭50-4912 (JP, A)

特開 昭51-29840 (JP, A)

実開 昭53-45037 (JP, U)

1

2

⑮ 特許請求の範囲

1 インク貯蔵器と、該インク貯蔵器よりインク
 通路を経てインクが供給されるノズルを備えたイン
 クジェット記録装置において、上記インク貯蔵
 器とノズルの間に、インク中に含まれる気泡を成
 5 長させる加熱部と、成長した気泡を拡散させる空
 気層と、脱気されたインクを常温に戻す冷却部を
 備えた脱気タンクを設けることを特徴とするイン
 クジェット記録装置の気泡除去装置。

2 前記の気泡を拡散させる空気層は、減圧され
 10 た空気層であることを特徴とする特許請求の範囲
 第1項に記載のインクジェット記録装置の気泡除
 去装置。

発明の詳細な説明

本発明は、インクジェット記録装置の気泡除去
 15 装置、特に加熱してインク中の気泡を成長させ脱
 気し易くした気泡除去装置に関するものである。

従来、インクジェット記録装置には、ヘッドに
 取付けられた圧電素子に電気信号を与え、それ
 により発生する圧力波のみでインク粒子を噴射さ
 20 せる方式（例えば、インク・オン・デマンド方
 式）、あるいはインク供給系より圧力を加えて、
 ノズルから連続的にインクを噴射させ、ノズル先
 端に設けられた偏向電極に電圧を加えることによ

り任意の方向にインク粒子を飛ばす方式（加圧励
 振方式）等がある。

これらの方式には、圧力ポンプ、偏向電極およ
 び高電圧の要、不要の違いはあるが、いずれもタ
 ンク内にインクを充填し、インク通路よりフィル
 7 タを通してヘッドのノズルまでインクを供給す
 る。

しかし、記録装置のインク供給系では、通常、
 タンク内のインクが空気と接触しているため、イン
 クを補充する際に外部から気泡が混入したり、
 あるいは外部の温度変化によりインク自体に溶解
 している空気が遊離して気泡が生じたり、あるい
 はインク内に含まれている有機物（微生物）によ
 つて気泡が発生する。

そして、インク供給系に気泡が混入すると、導
 管やフィルタを詰らせ、インクの流通を悪化させ
 るため、インクの供給が追いつかず、噴射時のダ
 レ等、一時的な噴射不能、あるいは噴射性能の低
 下を招いている。特に、インク・オン・デマンド
 方式では、供給インクを加圧していないため、イン
 ク供給系の流通が悪いと、ヘッドのノズルから
 空気を引込む現象があり、またヘッドのインク室
 に気泡が混入すると、圧電素子の振動がインクに
 伝達されず、噴射性能が低下して記録ができなく

(2)

特公 昭 61-32989

3

なる。

したがって、従来より、気泡を除去する方法が種々提案されている。

例えば、インク供給系に孔径 $5\mu\text{m}$ の孔を多数形成したステンレスのフィルタを設け、気泡の表面張力を利用してフィルタでインク中の気泡をトラップする方法（特開昭52-150028号公報参照）、あるいは、第1図に示すようなインクと残留空気とを分離する方法（特開昭52-15333号公報参照）、あるいは第2図に示すように、インク・タンクをカートリッジにして、インクが直接空気に触れないようにし、気泡の混入を防止する方法（実公昭52-38215号公報）等が提案されている。

第1図において、インク・カートリッジ2を備えたインク供給部1からのインク通路3は、弁5を介してポンプ4に接続され、さらにインク通路6は弁8を介してノズル7に接続される。ポンプ4と弁8の間には、弁9を介した通路10が設けられ、その先端に空気留め11が接続される。印字状態で、弁9を開くと、弁9の下部に留った空気が通路10を介してインクで充満されている空気留め11に流入される。

第2図では、端部に空気孔12が穿孔された筒体のインク・カートリッジ基体13、この基体13の内部に收容されたインク收容袋14、および弾性部材のキャップ15からなるカートリッジを、受け基体18の中央に取付けられた針17に差込むと、インク16は針17、針支持板19、インク通路20を通じてノズルに供給される。インク收容袋14は、インク16の減少にしたがって収縮するので、空気とインクは接触することがなく、気泡の混入は少い。

しかし、前記フィルタにより気泡をトラップする方法では、微小孔に気泡が詰ってインクの流通が悪くなり、またインクと残留空気を分離する方法では、積極的にインク中の気泡を除去することができず、さらにカートリッジ方式ではインク通路で発生した気泡を除去することはできない。

本発明の目的は、インク中に含まれている気泡を積極的に除去し、微小な気泡も有効に除去して、噴射不能、噴射性能の低下を未然に防止することにある。

以下、図面により本発明を詳細に説明する。

4

第3図は、本発明によるインクジェット記録装置のインク供給系のブロック図である。

インク・タンク30とフィルタ32との間に、本発明による気泡除去装置31を接続する。なお、フィルタ32が気泡で詰らないように、気泡除去装置31をフィルタ32に前置しているが、インク供給系の構成、あるいはその複雑さに応じて適当な場所、例えばフィルタ32と噴射ヘッド33との間に設けてもよい。

第4図は、本発明の一実施例を示す気泡除去装置の断面構造図である。

第3図における気泡除去装置31は、例えば第4図に示すように、流入路40側に加熱素子42を具備した加熱部41と、上部に空気層47と、流出路53側に冷却素子51を具備した冷却部50を有しており、流入路40と流出路53とはインク層48で連結されている。

いま、流入路40から気泡を含んだインクが流入してくると、加熱部41で加熱されるため気泡が成長してインク層48を上昇し、空気層47に拡散する。空気層47の上方は空気孔46により外気と接続しており、排出された気泡をここから逃がして、空気層47の圧力を大気圧と同じにする。なお、インクの蒸発を防止するためには、微細な孔にするか、または比較的長い通路を持つ細い管で外気と連絡すればよい。

脱気されたインクは、インク層48を通つて冷却部50で冷却素子51により常温に戻され、流出路53から流出する。

第4図に示すように、冷却部50はインク層48の下部に配置されているため、インク層48の上部と下部の間には温度勾配があり、さらに圧力差もあるので、インク層48の上部あるいは空気層47からインク層48の下部へ向つて気泡が進入することはない。

第4図において、加熱部41の出口付近と冷却部50の出口付近に感温素子44、52が設けられているが、これらは温度を検出して制御部により加熱素子42、冷却素子51を制御するためのものである。しかし、加熱素子42あるいは冷却素子51が自己制御性を持つ場合、すなわち一定温度以上あるいは以下にならないように自己抑制する素子（例えばPTCサーミスタ等）である場合、あるいはインクの流量に応じた適当な熱量を

(3)

特公 昭 61-32989

5

有する素子である場合には、感温素子 4 4, 5 2 および制御部は特に必要ない。ただし、ニクロム線等の発熱の高い加熱素子を用いた場合には、高温になるとインクが分解するので、温度制御が必要であり、また厳密に供給インクの温度を制御したい場合には感温素子 4 4, 5 2 は必要である。

なお、第 4 図において、断熱材 4 3, 4 9 は外部との温度を遮断するためのもので、気泡除去装置 3 1 の外側に高温または低温が伝導されないようにする。

なお、インクの流れが低速であり、特に冷却しなくても常温に戻る場合には、冷却素子 5 1 は不要である。また、冷却素子 5 1 のかわりに空冷用フィンを取付けることもできる。

第 5 図は、第 4 図の温度制御系のブロック図である。

インクジェット記録装置のインク供給系制御部 5 5 は、外気の温度検出部 5 6 と、気泡除去装置 3 1 の加熱部 4 1 に取付けられた感温素子 4 4 と、冷却部 5 0 に取付けられた感温素子 5 2 が示す温度を検出し、これらとあらかじめ設定した基準温度とをそれぞれ比較して、その結果にしたがって加熱素子駆動制御回路 5 7 と冷却素子駆動制御回路 5 8 を駆動させることにより加熱素子 4 2 および冷却素子 5 1 を制御する。

第 6 図は、本発明の他の実施例を示す気泡除去装置の断面構造図である。

第 6 図の気泡除去装置 3 1' は、流入路 4 0 側に加熱素子 4 2 を具備した加熱部 4 1、上部に減圧ポンプ 5 9 と電磁弁 5 4 の制御により減圧された空気層 4 7、および流出路 5 3 側に冷却素子 5 1 を具備した冷却部 5 0 を有しており、流入路 4 0 と流出路 5 3 とはインク層 4 8 で連結される。

いま、流入路 4 0 から気泡を含んだインクが流入すると、加熱部 4 1 で加熱されるため気泡が成長してインク層 4 8 を上昇する。インク層 4 8 の上部の空気層 4 7 は、減圧ポンプ 5 9 と電磁弁 5 4 により減圧されているため、気泡はインク層 4 8 の上部から空気層 4 7 に吸収拡散され易くなる。

脱気されたインクは、インク層 4 8 を通って冷却部 5 0 で常温に戻され、流出路 5 3 から流出する。

気泡除去装置 3 1' の側壁には液面検出器 6 0

6

が取付けられており、液面 4 5 が常にインク・タンク 3 0 の液面より高くなるように、すなわち空気層 4 7 の気圧がインク・タンク 3 0 内の空気圧よりも低くなるように監視する。

このように、第 6 図の装置は、気泡除去効果を上げるために、加熱と減圧の両方の機能を具備しており、インクの流量が多い場合には、特に有効である。

第 6 図においても、第 5 図と同じように、加熱素子 4 2 として例えばニクロム線や PTC サーミスタ等の半導体発熱体を、また冷却素子 5 1 として、例えばペルチエー効果を応用した電子冷凍素子、水冷の冷却装置あるいはコンプレッサによる断熱圧縮・膨脹を利用した冷凍機を用いる。また、必ずしも冷却素子 5 1 を使う必要はなく、インク層 4 8 が大きい場合や、インク供給量が多くない場合、あるいはインクの温度上昇が余り問題にならない場合には、自然冷却または空冷装置を取付けるのみでよい。

さらに、前述の電子冷凍素子やコンプレッサによる冷凍機は、冷却とともに発熱を伴うので、同時に発熱素子 4 2 として兼用することもできる。

第 7 図は、第 6 図における気圧および温度制御系のブロック図である。

インク供給系制御部 7 0 は、外気の温度検出部 5 6 からの温度と、装置内の感温素子 4 4, 5 2 からの温度と、制御部内の設定基準温度とを比較して、加熱素子駆動制御回路 5 7 と冷却素子駆動制御回路 5 8 とを駆動させることにより、加熱素子 4 2 と冷却素子 5 1 を制御する。この場合、外気の温度が低いときには、加熱素子 4 2 の能力を上げるように制御される。

また、空気層 4 7 の空気圧が変化すると、液面 4 5 の位置が変わるので、液面検出器 6 0 がこれを検知して制御部 7 0 に通知する。制御部 7 0 は検知信号レベルを判定し、弁駆動制御部 6 2 と減圧ポンプ駆動制御部 6 1 を駆動することにより、電磁弁 5 4 と減圧ポンプ 5 9 を制御して空気層 4 7 の圧力を調整し、液面 4 5 を上昇または下降させる。

なお、減圧ポンプ 5 9 のかわりにファン・モータ等を常時回転させることにより、弱い力で空気層 4 7 を減圧させれば、電磁弁 5 4 は不要となる。

(4)

特公 昭 61-32989

7

8

以上説明したように、本発明によれば、何らかの原因により気泡を含んだインクがインク供給系に流入しても、加熱あるいは加熱と減圧機構を有する気泡除去装置により有効に脱気され、フィルタや噴射ヘッドに気泡の少ないインクを供給することができるので、従来の欠点を解消して、気泡混入による噴射不能、噴射性能の低下を未然に防止することができる。

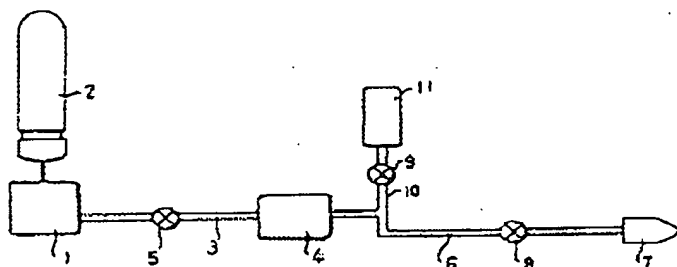
図面の簡単な説明

第1図は従来のインクジェット記録装置における残留空気分離方法の説明図、第2図はインク・カートリッジ方式のインク・タンクの説明図、第3図は本発明によるインクジェット記録装置のインク供給系のブロック図、第4図は本発明の一実施例を示す気泡除去装置の断面構造図、第5図は第4図の温度制御系のブロック図、第6図は本発

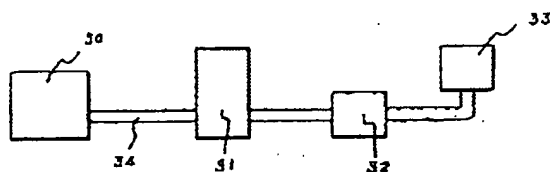
明の他の実施例を示す気泡除去装置の断面構造図、第7図は第8図における気圧および温度制御系のブロック図である。

30…インク・タンク、31、31'…気泡除去装置、32…フィルタ、33…噴射ヘッド、34…インク通路、40…流入路、41…加熱部、42…加熱素子、43、49…断熱材、44、52…感温素子、45…液面、46…空気孔、47…空気層、48…インク層、50…冷却部、51…冷却素子、53…流出路、54…電磁弁、55、70…インク供給系制御部、56…外気の温度検出部、57…加熱素子駆動制御回路、58…冷却素子駆動制御回路、59…減圧ポンプ、60…液面検出器、61…減圧ポンプ駆動制御部、62…弁駆動制御部。

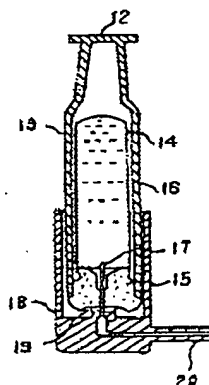
第1図



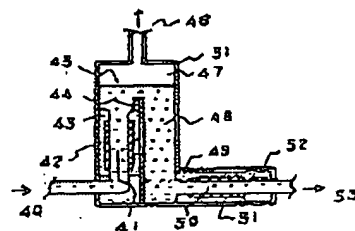
第3図



第2図



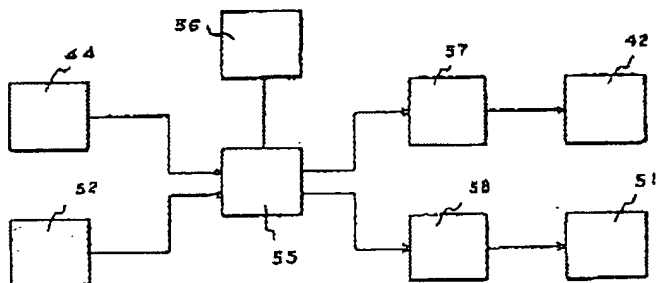
第4図



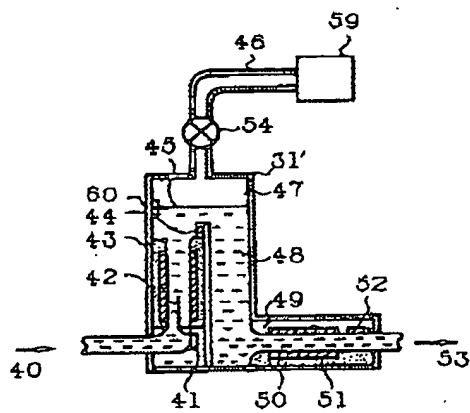
(5)

特公 昭 61-32989

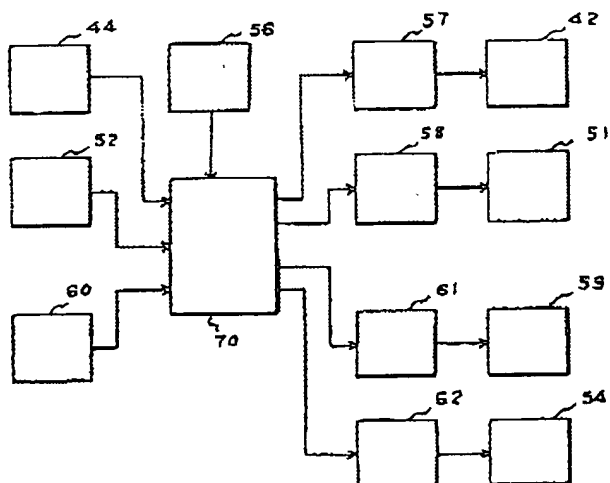
第5図



第6図



第7図



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.